

会議名称：令和4年度4月期古賀市社会教育委員の会議

日 時：令和4年4月19日（火） 18時30分～19時30分

場 所：リーバスプラザこが交流館 302号室

主な議題：役職決め、年間スケジュールの確認

傍聴者数：2名

出席者：井浦議長、角森副議長、國友委員、村山委員、秋山委員、橋爪委員、丸井委員、
光永委員、堺委員

（以上委員9名）

横田教育部長、樋口生涯学習課長、坂井青少年育成課長、柴田文化課長、

村上参事補佐、小嶋、平川

欠席者：なし

事務局：生涯学習推進課社会教育振興係

配布資料：レジメ、委員名簿、年間活動計画、笑顔のつどいパンフレット（案）

会議内容：以下のとおり

井浦議長：

それでは定刻になっておりますので、令和4年度4月期の社会教育委員の会議を始めさせていただきます。

本年度最初の会議になります。委員のメンバーも1人交代ということで、また後で正式に紹介をしていただけるかと思っております。

さてニュース等を見てますと、ウクライナの大ニュースが頻りに流れてますし、何か明るいニュースが出ないかなと思ったら、今日は朝から且過市場の火災のとてつもないのがまた放映されたり、明るいニュースを探すのがちょっと大変かなというような状況です。

コロナ禍でいろいろ問題もありますけれども、少しここ数日、下火というか、先週前週の日より落ち着いてきておりますので、できるだけ早くこれが収束とまではいかないかもしれませんが減少して行って、私達が計画しております6月の生涯学習笑顔のつどいが開催できれば、2年越しになりますし、無事開催できればと思っております。

それでは本日は年間計画とか第7回のつどい、また古賀市各種関係委員の選出等が議題になるかと思いますが、よろしく願いいたします。

一同：

よろしく申し上げます。

井浦議長：

それで2番の委嘱になっております。

事務局：

委嘱に関しましては、今回、堺校長が社会教育委員に、早川校長の入れ代わりということで。堺先生の方に委嘱書の方をお手元の方に配置しておりますので、ご了承いただきたいと思ひます。

よろしくお願ひいたします。

一同：

よろしくお願ひします。

井浦議長：

堺校長先生は青柳小学校の校長ですけれども、福岡教育事務所の社会教育の部分はずっと担当されたりされてますし、社会教育主事もお持ちですので、専門性かつ県内の動向とかについても、いろいろ協議の中でお話聞けるのではないかなと期待しているところです。どうぞよろしくお願ひします。

それでは3番目、委員の紹介事務局紹介ということで議題上がっているようです。お願ひします。

事務局：

3番2の紹介です。委員の新しい名簿の方をお手元の方に配布しております。年度も変わったことですので、自己紹介がてら、社会教育委員の皆様の方から一言いただけたらと思っております。その後に、今回社会教育三課ということで、文化課、それから青少年育成課長も出席しておりますので、事務局の方の自己紹介の方に移らせていただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

井浦議長：

では、名簿順でいきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

角森副議長：

はい、角森と申します。今、私この面々を見てずっと思ってたんでございます。

以前の横大路さんが、今職場が一緒なんですね。で、あんたまだしようとなんて言われたんで、えって思ってたら、これを見たら確かにまだ委員してました。すいません角森と申します。

國友委員：

2番目載っております國友と申します。

民間企業代表みたいな感じで、社会教育委員に参加してたんですけど、ちょっとご縁があ

りまして、リーパスの1階でこの4月から働かせていただいております。

ここに書いてあるような経歴での発言を心がけたいと思っております。よろしくお願いいたします。

村山委員：

村山美和子です。そこに挙げてありますように、古賀市の図書館協議会の委員をさせていただいたり、それからコスモス文庫の代表をしております。

社会教育の委員になって、勉強は少しずつ進んでおりますけれども、進めば進むほど、その厳しさがわかってきてですね、何とかならないものかと思うことがたくさんありました。微力ですが、役に立てるところは頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

井浦委員：

井浦でございます、どうぞよろしくお願いいたします。昨年度から大役を引き受けさせていただいております。

皆様の積極的なご発言が古賀市の社会教育、生涯学習の今後の動向を大きく左右するものと思っておりますので、忌憚ない発言、積極的な発言、今後ともよろしくお願いいたします。

丸井委員：

丸井といいます。経験年数3年になったんですけど、まだあまり学べていないのかなっていうところです。ボランティアグループワペルが結構学生さんたちが動いてるので、なかなか参加できてないです。

あとは古賀市の経営戦略課で働いています。よろしくお願いいたします。

秋山委員：

秋山といいます。社会福祉協議会からの選出になります。

福祉分野、とりわけ地域福祉の観点から、社会教育の推進の方、微力ではございますが、関わらせていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

橋爪委員：

橋爪と申します。古賀市スポーツ協会から選出されてやってきております。

私も微力でございますが、皆さんの、または古賀市の社会教育の役に立てたらと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

光永委員：

昨年から参加させていただいております光永ゆかりと申します。よろしくお願いいたします。

す。

古賀市文化協会の方から推薦されてますが、昨年1年間、何もわからず、ただこんなに大変なんだっていうことをすごく痛感しながら、参加させていただいています。

すごく興味深いこともたくさんあるので、勉強しながら、何かお役に立てることがあったらいいなと思います。よろしく願いいたします。

堺委員：

改めましてこんばんは。昨年度より古賀市立青柳小学校の校長で赴任しました堺と言います。

その前の井浦前校長先生から引き継いだ形になるんですけど、その前に先ほど言われたように福岡教育事務所にいるときに、ちょうど井浦校長先生が本庁の社会教育のトップにいらっしゃいましたので、もういろいろご指導いただきながら進めてきました。

でも全然詳しくないので一緒に勉強させてもらったらいいなと思っています。

住まいが糸島なので、通いも頑張ってやって来てます。この後終わったら早く帰ろうと。

いろいろ勉強させてもらおうと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。

一同：

お願いします。

井浦議長：

では事務局の方お願いいたします。

横田教育部長：

こんばんは。教育部部長の横田と申します。今年度もどうぞよろしくお願い致します。

2年目になりました。昨年度はですね、コロナ禍ということで、社会教育委員の会議、会議ばかりでしたが、今年度はぜひ、何か活動が皆さんと一緒にできればと願っております。

どうぞよろしくお願い致します。

樋口生涯学習推進課長：

こんばんは、生涯学習推進課長の樋口です。

2年目になりました。また今年スケジュールまた後で出てきますけども、またお知恵を拝借して、いいものを作れたらと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

坂井青少年育成課長：

青少年育成課長坂井です。私も2年目になります。

青少年育成が管轄する施設としては、児童館児童センター、また、井浦議長がいらっしゃ

いますけど、青少年支援センターというのも所管しております。それ以外に各学校にある学童保育所、あと青少年育成団体の支援とか、それ以外にも地域が主体で行っていただいている寺子屋や通学合宿とか放課後こども教室というのを管轄しているところです。

現在力を入れてるところが、地域でこどもたちを育てるということで、放課後こども教室等を全校に広げて、こどもたちの放課後の居場所作りとやっていっております。皆様方のお力添えも今後いただいて、こどもたちが健やかに育つような古賀市にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

柴田文化課長：

社会教育委員の皆さん、こんばんは。文化課の柴田と言います。

職場は隣のリーパスの中の図書館と歴史資料館とあと文化財係を持っております。4年目になるんですが、その前はこちらを担当させていただいてましたけど、全くアウェー感がありませんが、緊張感がなくて申し訳ないなと思っておりますというところで。

CMの一つさせていただきたいと思えます。

お手元にA6の紙を置かせていただいております。皆様ご存じかと思いますが、歴史資料館の方で船原遺跡のYouTube やっております。カウントを稼ぐのも今回の目的となっておりますので、1日1回ぜひ見ていただければと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

村上：

どうも改めまして村上です。

生涯学習推進課でこの担当しまして、4年目になりますが、4年目とは言いましても笑顔のつどいもまだ一度しかできておりません。皆さんにはご無理を申し上げることがあろうかと思えますけれども、どうぞよろしくお願いいたします。

平川：

生涯学習推進課平川と申します。4月から渡辺に代わり担当させていただくことになりました。これから皆様とのご連絡は私の方でさせていただくようになります。まだ不慣れなこともありご迷惑をおかけするかと思いますが、よろしくお願いいたします。

小嶋：

生涯学習推進課の小嶋と申します。私の方も村上と一緒に4年目になりました。

前回のつどいを知ってるのが、あまりいなくなった感じではありますけども、私もつどいと市民アンケートの作成の取り組みという、大きな事業が二つございまして、また皆様のお力添えいただきまして、頑張りたいと思えます。

井浦議長：

では各種委員の選出ということになっております。事務局お願いします。

事務局：

レジュメの方を1枚めくっていただきまして、各種委員を皆様に大体一つずつご経験いただいている状況です。去年選出いたしました2年任期のもの、あと井浦議長は県の社会教育委員連絡協議会の委員、これはあて職となっております。他にも1年任期のものそれから2年任期で、任期を跨いでいるものの交代が今回生じております。

四つの枠がございますので、皆様の互選により、この四つの枠、人権尊重推進委員と社会同和教育推進協議会理事、それから子ども子育て会議委員、こちらをどなたかに引き受けていただきたいと思っております。

井浦議長：

四つの大枠がございます。

令和3年度各種委員の役割のところには前回の方々が書いてあるわけですがけれども、これも参考にご検討いただいて。引き継ぎ上の問題とかもあるかと思っております。どうぞ前任の方のご意見も聞きながら、四つの枠がうまく回ればと思っております。

いかがでしょうか？前任の方で何かお話になることありますか。

光永委員：

これ委員は変わらないといけないですか？また同じじゃ駄目ですか？

井浦議長：

同じでも結構です。

光永委員：

私、人権尊重推進よろしいですか。

國友委員：

異議なし

井浦委員：

では光永委員の方に人権尊重推進委員をお願いできればと思っております。

角森副議長

子ども子育て会議はこのところ2年間、ほとんどもう書面決議とかばっかりで、活動も

したようなしてないような感じです。計画書も出来上がったので進捗状況を見ていただけないのですが、よければ私が。

井浦議長：

よろしいですか。ありがとうございます。

社会「同和」教育推進協議会の方いかがでしょうか？

橋爪委員・秋山委員：

はい。(挙手)

井浦議長：

令和3年度に引き続き橋爪委員と秋山委員がお手を挙げていただいたので、ぜひお願いできればと思います。

事務局：

ありがとうございます。委員の皆様にはまた担当の所管から直接またはこちらの事務局の方からご連絡差し上げることもあるかと思いますが、1年間よろしく願いいたします。

井浦議長：

はい、それでは協議の方に入らせていただいてよろしいでしょうか？大きく二つのことが本日上がっております。4年度の社会教育委員の年間活動の確認ということで、まず事務局の方からお願いします。

事務局：

令和4年度の社会教育委員の年間活動の確認です。

年間活動計画に関しましては、前回3月期の委員の会議におきましてもご確認をいただいたところですので、ご承認いただきましたので、案ということではなく正規の活動計画ということでお配りさせていただいております。

令和3年度の社会教育委員の会議の振り返りといたしましては、やはり新型コロナウイルスの感染拡大防止ということで、第7回生涯学習の笑顔のつどいが、再三にわたり延期になり、なかなか思うように進められなかったところがございます。

ただ、社会教育委員の会議のオンライン開催、九州ブロック社会教育研修会のオンライン会議など、新たな参画活動の仕方というものを模索していき一年間ございました。

第7回のつどいにつきましては、2か年度の延期を含めまして、タイトルを「発見発掘古賀のステキ活動～コロナ禍での活動をどうしたらできる～」というタイトルをそのまま引き継ぐ形で、今年は6月に早期開催というふうなところで、準備を進めるということを確認

認しました。

また、今回新たな取り組みといたしましては、令和 5 年度で計画期間の満了いたします第 2 次古賀市生涯学習基本計画に代わる第 3 次古賀市生涯学習基本計画を策定するため、市民アンケートを実施するというので、これにより、古賀市の生涯学習活動はどのような活動が必要であるか、それからどのようなふうな数値データを社会教育委員の会議として持つておく必要があるかということ、今年度、皆様とともに考えていこうと考えております。

裏面をめぐっていただきまして年間活動計画を記載してございます。

6 月には第 7 回生涯学習笑顔のつどいを 6 月の 12 日に開催するところで、笑顔のつどいが終わりましたら、7 月から市民アンケートの作成協議を進めていきまして、10 月には市民アンケートを実施したいというふうに考えております。

市民アンケートの取りまとめは、実施後、今年の年末 12 月から取りまとめをいたしまして、それから分析、3 月には分析結果に基づいて次年度の生涯学習基本計画の策定と繋げていきたいと考えているところでございます。

この市民アンケートの作成に関しましては、今回初の取り組みにもなっておりまして、ですので、ゼロベースで、他市の指標のとり方などを参考にしながら進めてまいりたいと思っております。年間活動計画につきましては以上です。皆様には追加のご意見ですね、ご指摘ありましたらお願いしたいと思っております。

井浦議長：

はい、令和 4 年度の年間活動計画は、大きくはつどいと市民アンケートということになります。毎月 1 回会議を開催してまいりますので、その中で行わなければいけないということになります。

前回ちょっと確認しましたように、次回の 5 月の会議では、もう集いの全般のですね、最終確認ということになりますし、集いが終わりましたら、市民アンケートが主ですけれども、第 8 回のつどいの持ち方についても並行してやっていかなければいけません。次年度の続きですね、会議の中では、市民アンケートとつどいと二本立てがずっと動いていくということで再確認していただければと思います。

その他、研修計画も上がっておりますので、年間ちょっと見ていただいでですね、ご意見等ありましたらお聞かせください。

角森副議長：

計画表のところに、先生さっきおっしゃった 8 回の笑顔のつどいを検討していくというのを入れたらいかがでしょうか？文字であった方が忘れないかな。

井浦議長：

項目を立てて。

事務局：

わかりました。

それでは7月に集いを振り返り、それから、8月から次回第8回の笑顔集いの比較検討という項目を加えます。

井浦議長：

よろしいですか。

國友委員：

その市民アンケートについてなんですけど、アンケートをとりまとめたのを分析します。その結果、社会教育委員として提言じゃないけど、アンケート結果から考えられますとかのゴールは、来年度を目指してあるんですか。

事務局：

はい、今、國友委員にご指摘いただいた通りでございます。

今年は分析がどの程度の進捗をするかというところが、事務局の方としてはまだ計りかねているところもございます。分析期間を1月から3月までということで、取りまとめの集計から結果までは事務局の方で作成してお示ししますので、その中で、どういったものが見えてくるか、また、本丸になります次期生涯学習基本計画にどういった形で取り入れて盛り込んでいくかというふうなところが、國友委員のおっしゃるゴールで、そこを中締めの総括するかどうかというふうなところは、進捗を見ながら、皆さんと協議をして進めていきたいというふうに思っております。

井浦議長：

毎年、報告書という形で、その中に提言を行っておりますので、今回のアンケートの件が、中間総括という形で載るのか、また別物でしていくのかっていうのを、並行して検討しながらやっていければと思います。

まずは6月の集いに向けて協議を、来月からしっかり固めたいと思いますので、よろしくをお願いします。

研修計画でも大分県5人や、社協センターや筑紫野市とかいろいろ上がってますので、各研修の要望が届きましたら、また皆さんに参加要請の方をしていきたいと思っております。

ちなみに7月7日は、古賀市の事例発表ということで、参加できる方はぜひ聞きに来てください。

井浦議長：

年間計画の方はよろしいでしょうか？

それでは次の笑顔のつどいについてお願いします。

事務局：

笑顔のつどいにつきましては、先ほど年間活動計画の中でご説明差し上げました通り、令和4年6月10日曜日、10時から12時、実際11時50分に終了目標にして進めてまいりたいと考えています。

テーマにつきましては、約2年間、コロナ禍でなかなか活動ができていない、もしくはこのコロナ禍だからこそそのやり方、新しいスタンダードな形で活動する団体等々ございます。そちらをできるだけ多くの社会活動団体、もしくは自治会の会長さん、そういったところに知っていただいて、社会活動の流れを止めないという、大きな目標を達成していきたいと考えているところです。ですので、市民活動団体・社会教育関係団体に重点的にお願いしていきたいと考えています。

内容につきましては、昨年度、協議と準備を進めてまいりましたオープニング映像から、開会行事、パネルディスカッションでパネリスト3名、それからゲストにつどいの広場の1組をお招きいたしまして、できるだけ活発な意見交換との議論をしていきたいというふうに考えております。

実は第6回には初めてワークショップ形式を取り組みました。ワークショップ形式の良いところは、スクール形式と違い発表者・提案者との距離感が近いところ、それから相互通行ですね。意見交流ができるところというふうな良いところがございますが、やはり昨今の状況を考えますと、パネルディスカッションという形が最適であろうという形で落ち着いております。

添付しておりますものが当日に配布する予定のパンフレットになります。

このパンフレットの中には、パネリストになります松本正敏さん、山本節子さん、それから江頭隆博さんのプロフィールを載せております。ゲストのつながりひろばは、活動の状況、目的、趣旨を掲載しているところです。

残念ながら3年度に計画しておりました北中のOBに関しましては、時期と状況が困難なことから、このパンフレットからは外しております。

1点だけ訂正がございます。めくって見開きの左側、パネリストの松本正敏さんの肩書きに前を入れる必要がございます。前日吉台自治会長になりますのでこちら訂正させていただきます。

報告につきましては以上です。

井浦議長：

ありがとうございます。

ちょっと確認ですが、この要綱は正式には出てないですね。

あと、中学生の発表がなくなったということで、時間設定が少し変わってくるかと思うんですよね。

タイムスケジュールを見ましたが、中学生の発言の時間がなくなり、1人1人の発言の時間を延ばすのか。あるいはつながりひろばさんをゲストという形でイメージしていましたが、登壇者として、パネリストとして発言してもらおうとか考えてみたんですけど、その辺は皆さんどうでしょうか？

密を避けるということで、ステージ上3名、そしてコーディネーターもサブ、横からということで設定していましたが、4名ステージに上られるなら、つながりさんの発言が他パネリストと同じように2回に追加できることで、より議論が深まっていくのかなと思いました。

ちょっとタイムスケジュールがないので、なかなかイメージ湧かないかと思いますが、以前を思い出していただいて。

國友委員：

北中 OB の方が、タイムスケジュールの中でどれぐらいの時間をかけてご発言してもらうかによると思いますが、登壇者3名を4名にすることでのリスクは、コロナの影響ぐらいですか？

角森委員：

結構時間が押していたような気がします。

井浦議長：

第1発言が4分、第2発言が3分、協議・フロアの意見交換が15分ぐらいだったと思います。他につながりさんと中学校の発表。それで50分ぐらいになりました。

つながりさんの発言と中学校の発言・発表を、つながりさんの2回分に当てても、全然支障ないんじゃないかなと思いました。

國友委員：

つながりさんは、登壇して発表するとなると資料なりが必要になると思うんですね。他の3名の方は準備はできてると思うんですけど、つながりさんもそういった準備はできてるのでしょうか。

事務局：

つながりひろばさんには資料の作成を依頼しておりませんので、おそらくお持ちじゃな

いです。

國友委員：

その辺が間に合うかというのは、ひとつ課題になる。

井浦議長：

コーディネーターを橋爪先生にお願いしてたんですけど、全体の進行としてどう思われますか。

橋爪委員：

つながりさんはゲストで行くつもりでおられるかなと思うんですね。

そこで今が4月の19日、6月の12日まで2ヶ月を切った状態でパネリストに変更になりました、資料を準備してくださいというのはちょっと厳しいかもしれないと思うので、時間の配分は北中が4分ぐらいだったら、つながりさんにより詳しく話していただけたらということ伝えて、ゲストのままというのはいかがでしょうか？

光永委員：

つながり広場さんの発言は、13ページの下からですかね。

事務局：

事務局の方のイメージとしては、やはりパネルディスカッションの一つの醍醐味としてはフロア交流というのはあると思います。

つながりひろばさんのご発言をきっかけに、多様な方がフロアから発言されるように促していけば、一つ効果が見込めるのではないかと。

あともう1点、実はパネリスト4名のシミュレーションもしておりました。発言機会が3回あるということを考えますと、やはりパネリスト4名にすると、1人1人の方の持ち時間かなりタイトになってしまうので考慮する必要がある。

井浦委員：

どうでしょう他の委員の皆さん。では計画通りの3名のパネリストとつながりさんということで、次回またタイムテーブルを用意していただいて、進行のコーディネーターの橋爪先生がスムーズに流していけるように、もうちょっと見直す。最後になりますので。

橋爪委員：

頑張ります。

井浦議長：

時間的に余裕があれば、先ほど発言ありましたように、つながりさんの時間を少し長く、フロアから喋ってもらおうとか。できたらちょっと早めにタイムテーブルを皆さんに送っていただいて意見もらおうとか。

事務局：

はい、わかりました。

角森委員：

いいですか。

井浦議長：

はい。

角森：

普通パネラーさんたちがフロアから意見を伺ったり質問をするのは難しい。サクラみたいにフロアにつながりさんがいてくださると、全体としてはいいという気がしました。パネラーになれるぐらいの勢いでフロアから言っていただければ、盛り上がるかなと思いました。收拾は橋爪先生に任せて。

井浦議長：

では、笑顔のつどいについて、その他ご意見等ありましたらお聞かせください。

よろしいですか。

じゃあ次回で固めて、運営ということになりますので、よろしく願いいたします。

國友委員：

すいません、笑顔のつどいの開催時間は、表立っては 11 時 50 分までっていうことでよろしいのでしょうか。

事務局：

はい。

井浦：

他に皆様の方からこの件についてというのがありましたら。よろしいですか？

今日初めて堺委員来られていますので、古賀市の社会教育委員の会議の、今までの取り組みの中で特徴的なお話とかも聞えますか。

事務局：

ただいまご協議いただきました生涯学習笑顔のつどいというのは、あの開催形式っていうのは、福岡県内でもほとんど例を見ない、社会教育委員の会議の自主事業、自主活動としての事業になります。様々なところで様々な社会教育委員の会議の活動を持っておりますけれども、社会教育委員の皆さんが企画して検討して、実行するというやり方というのは非常に珍しい形式であろうと考えております。

こちら実際に企画して運営するためには、市内にあります様々な社会教育活動団体の活動というものを知っておく必要がありますし、そのそれを支えていらっしゃる様々な活動母体から、この社会教育委員の会議というものが構成されている、それが一つの大きな特徴ではないかというふうに考えております。

文化協会・スポーツ協会をはじめ、本当に様々なバックグラウンドを持ちの方々が、それぞれの活動、それからそれぞれの人脈を使って、そのときその時勢に応じた、生涯学習を促進していくというところが、この社会教育委員の会議の大きな特徴の一つだということはないかと思えます。

また提言の活動というのも古賀市の社会教育委員の会議では非常に活発であります。令和2年には、委員1人ずつの9つの提言というものの実際に市長部局、それから教育委員会当局の方に提出して、市政に実際に反映しております。

この9つの提言というのも非常に特徴的で、社会教育委員の会議は独任制という非常に珍しい会議形式をとっております。ですので、委員の皆さん1人1人が感じたこと、それから問題意識、課題意識として持っていることを、それぞれに深めていくことが可能である。それを踏まえた上での9つの提言ですが、福祉分野から教育分野、それから市政全般にかけて、ボーダーレスな提言ができる。提言をしたということも、近年では非常に特徴的な活動であると考えております。

そういうことで今後の活動、それから市民アンケートの作成などでも、皆さんのそれぞれの立場だからこそできること、気づけること、課題だというふうに認識できることというものを出し合っていていただいて、提言に匹敵するような、問題の洗い出し、それから、課題の提言に繋げていけると考えるところです。

簡単ですけれども、古賀市の社会教育委員の会議の特徴とそれから活動の内容につきましては以上です。

井浦議長：

ありがとうございます。事前に堺委員の方には資料送っていただいております。ここ2年、つどいできていませんので、急遽何をやろうかっていうことで、9つの提言をさせていただきますし、その前は八女市の社会教育委員の皆さんと交流、というか視察に来られて、意見交換をさせていただくようなこともさせていただきました。

会議だけではなく、いろんな取り組みをやっておりますので、ぜひ積極的に発言を。県の方にいっちゃったから情報をお持ちだと思いますけど、よろしくお願いします。

それでは、生涯学習笑顔のつどいが6月12日でございます。

まだまだ、コロナの今後の動きは心配ですけれども、社会的にも感染対策を図りながら、社会活動を回す、そして行事等も運営していくということで動いているようなので、私達も準備をしっかりとって当日を迎えられればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それではその他の方に移ります。委員の皆様の方から情報提供等ありましたらよろしくお願いいたします。

ございませんか。

國友委員：

新入社員なもので余裕なくて何も準備ができませんでした。

井浦議長：

学校関係はどうですか。子供たち、新学期始まって、元気いっぱいですか。

橋爪委員：

そうですね、私、異動になりまして、舞の里小学校の方に行きまして、非常に楽しく、私が過ごしております。ありがとうございます。子供たちも元気です。

井浦議長：

どうですか堺君。

堺委員：

入学式が終わって。1年生は保護者から離れきれない子供たちが1年に1名はいるんですけど、今年の1年生は本当に何もなくて、すんなり入って行ってきちんと座っている姿を見ると、すごいなと思っています。で、1教室ちょっと35人いっぱいなので、子供たちも大変だろうなと思いつつ。でもこの場所や笑顔を見ると、こっちも元気をもらえるなと思っています。

井浦議長：

通勤途中に子供たち、高校生・中学生・小学生の通学の様子を見ると、地域の方が見守り活動でいろんなところに立ってあって、子供たちの指導して下さって見守ってる。温かいなと思いつつ、私も青柳の横を歩いて出勤しているんですけど、私の車見たらまだ子供が手振ってくれることが多いんですね。嬉しいですね。近くに勤務できてよかったなと思いつつ。

ながら通勤しているところです。

國友委員：

そういえば一つだけよろしいですか。

古賀中学校が今年の新入生から制服を選択制にしています。私も職場の行き帰りですれ違うんですけど、女性でもスラックスとかパンツで OK ということで、実際パンツで通ってる女の子もいます。いい取り組みだなと。おそらく他の学校でも形になっていくんじゃないかならうかと思います。

井浦議長：

ありがとうございます。

秋山委員：

情報提供ですが、今日、社協の業務の一環で鹿部区の子育てサロンの計画の方に行っていました。

前回の笑顔のつどいのご協力いただいた森さんが主催というか担当されてる活動なんですけども、今日も 4 組の親子の参加がありまして、子どもたちの交流の場であったり、保護者の交流、ママ友といいますが、いろんな関係作りの場としても機能しておりました。

子育てサロンは福祉会というところが主体でしている活動ですが、今現在古賀市内で行われているのがその鹿部区だけになります。ただ、花鶴であったり久保西だったり、新しい世代も入ってきているところもありますので、こういった活動が広がっていったらと社協としても思っているところです。子供たちの地域と触れ合う学びの場というところでは、社会教育としても大きく意味のあるものだと考えておりますので、ぜひ今後、同じ社会教育委員の会議の中でも情報共有していったらというふうに思います。状況報告です。

井浦議長：

ありがとうございます。

よろしいですか。それでは事務局からということをお願いします。

事務局：

事務局からでございます。

糟屋区の社会教育振興会評議員会総会が今年 5 月 26 日木曜日に須恵町のアザレアホールで開催される予定です。

私と議長は出席いたしますが、こちらの記念講演で、林田スマ先生の講演がございますので、お時間許すようございましたら、事務局の方までお申し出いただきたい。こちらの方

で車を準備しますので、乗り合わせ、講演会に向かいたいと思いますので、一つご検討いただきたい。開催要項は、明後日こちらの方に届くということですので、時間等は開催要項を見てご連絡しますので、よろしく申し上げます。

事務局からのご連絡は以上です。

井浦議長：

社協振の評議員会総会ですね。

要項ができましたらお知らせいただいて、参加ありましたらお願いいたします。

それでは最後に次回開催日程についてということをお願いいたします。

～日程調整～

井浦議長：

今回は5月24日の火曜日ということで。しっかり協議して第7回つどいができるようにやっていきたいと思っておりますのでお願いいたします。

では以上で協議の方、議事その他終わりにしたいと思います。

角森副議長：

座ったままで最後のご挨拶は終わりの言葉とさせていただきます。

二つありまして、国立なんとか生育研究所っていうところが、子供の親に対してのコロナ禍でのアンケートを全国的に調査していたそうです。そこで親御さんが悩んでるのは、コロナで子供たちが外の活動もない学校にも行けない、その人間関係の作り方とか、家の中ばかりで兄弟や家族のストレスを学校で発散できない、そういうところをお母さんたちが心配してるっていうのがありました。古賀市は社会教育委員さんのいろいろな集まりをされているので、いいのかなど。地域によって全て閉鎖っていうのもあるみたいですね。地域の活動っていうのが改めて見直されるとラジオで聞いたんで、ネットで探しましたが、たどり着いておりません。

もう一つは、私は留年した学生のサポートで、裏チューターと言って学生とLINEグループ作ったんです。そしたら、本当に言葉を知らない。普段は友達同士のLINE文章なんだろうと思うんです。そこにおばさんが入ってるから、こんな言葉使うんっていうような文章を書いてくるんですね。

友達間では通じる言葉なんだろうと思うんです。敬語の使い方であったり、お友達感覚の文章書いてくるしですね。

だから、心の教育、学校での教育は大事なんだなあとあって、びっくりしたところです。言葉を知らないなと思って。

留年生になっている子供たちなので、就職支援と国家試験支援に別に担任はいるんです

けど、LINE に一緒に入ってびっくりしたなど。

古賀の方々の活動ってすごいなあと私は思っていつも勉強させていただいております。

議長の足がやっと少し復活されたかなあと。今日は先生、松葉杖がまだ。お体には気をつけて。

ではお疲れ様でした。

一同：

ありがとうございました。